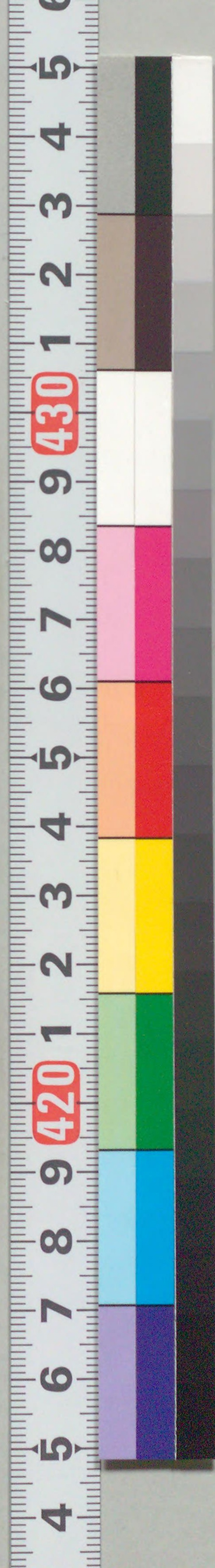




国立国会図書館 [足柄山峯復仇] 3巻 207-1639



ガラス使用

初音櫻二姓作
喜多川月唐画

忠
子
復
仇

牛
い
百
九
十九

全
冊



忠
子
復
仇

前
巻
紙
の
か
り















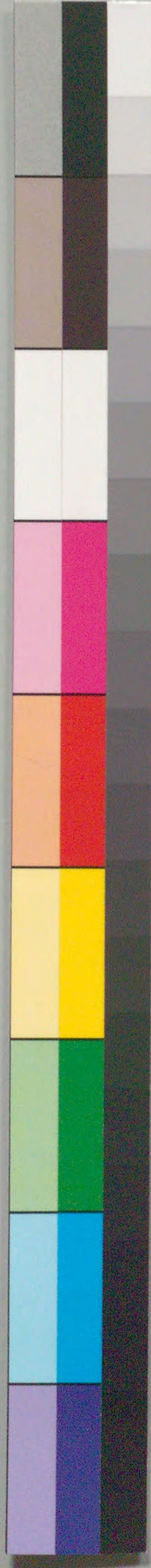














午い石九土

返人告一丸作

昇高保久壽画

三冊 浪仇口矢昔其全部



合

十返舎
一九著述

文化
庚午

仙樂街
錦林堂梓

新撰
新撰
合撰
合撰
史
史
巻
巻

大

其昔矢口仇浪

十返舎一九校合

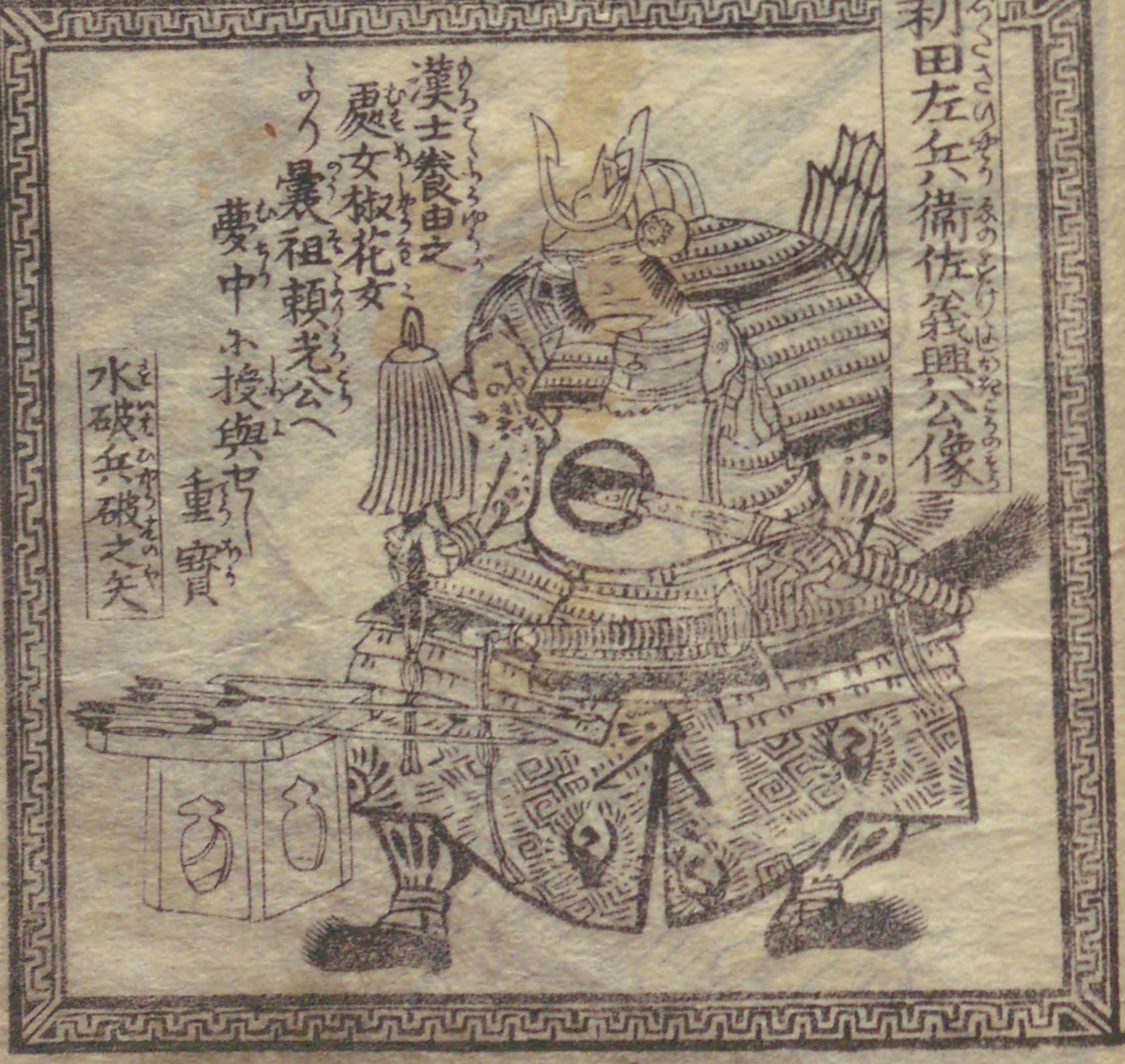
松武藏の国は原の部天口村鎮座まゝと新田大明神の
 本原と記してある小天祚九十九代後光厳院の御代
 ありしめと時南北朝より色和及吉野の内禪河島御座
 とをえらふ後醍醐帝第七の王子後村上の皇小仕へてま
 つて忠壮勇戦ふ其名を弘くせし新田左兵衛佐美貞公
 の亡息と祭り鎮座する頃延文四年九月中旬皇居
 補佐の臣坊門宰相清忠卿その身短き思昧やそ
 殿上の威権あはらう我意不任せ他の功あるを妬み
 性質するゆゑ年来新田の武備さくさくを備抗し官軍無
 勢あると見こみて足利尊氏追討の詔をゆく

とくへし

美奥公みおくこう不なあせせて諷ふう向むかせしむ美奥公みおくこうハ三德さんとく兼備けんびの良将りやうしやうふ
 て今いまハ微勢ゐせうとありて尊氏うんじの大軍たいぐん不なあせりて天あまの時とき至いたらざ
 と推度おしあしむハ是こゝと解諫かいけんせしむるも清忠せいしゅう々々々々ありあへ
 るあらざるゆゑ止とどまらざるは父ちち美貞公みしんこうの法跡ほふしと追慕おひこし討う
 死しと覚悟かくごをさしむ法ほふ舎弟しやてい小太郎せうたろう美岑公みせみこうやバ皇居みやうきよ守護しゆごと
 残のこりた家いへの子郎しやう等らう宗徒そうたの面々おももも引つきて鎌倉かまくらへと軍馬ぐんばと
 勢せい引ひ果はて半途たんじゆ不待受ふたいじゆさんで不戦ふせんハ敗走ばいそうを美奥公みおくこう勝かつ不な乗のり
 て直ちやう下げかゝるあらざるひと馳出せしゆめふところ不な竹たけ以も監物かんぶつ承うり
 時ときとつりの交まひ江田えだの判官はんくわん不調ふてう合あはせ矢口やぐち村むらの渡舟わたりふね不な
 て美奥公みおくこうとらじらひもし又また忠魂ちゆうこん京きやう鎌倉かまくら不な山宗さんしゆとあると
 今いま新田しんた大明神だいめいじんと又また美德みとくとを残のこるる

新田左兵衛佐義興公像

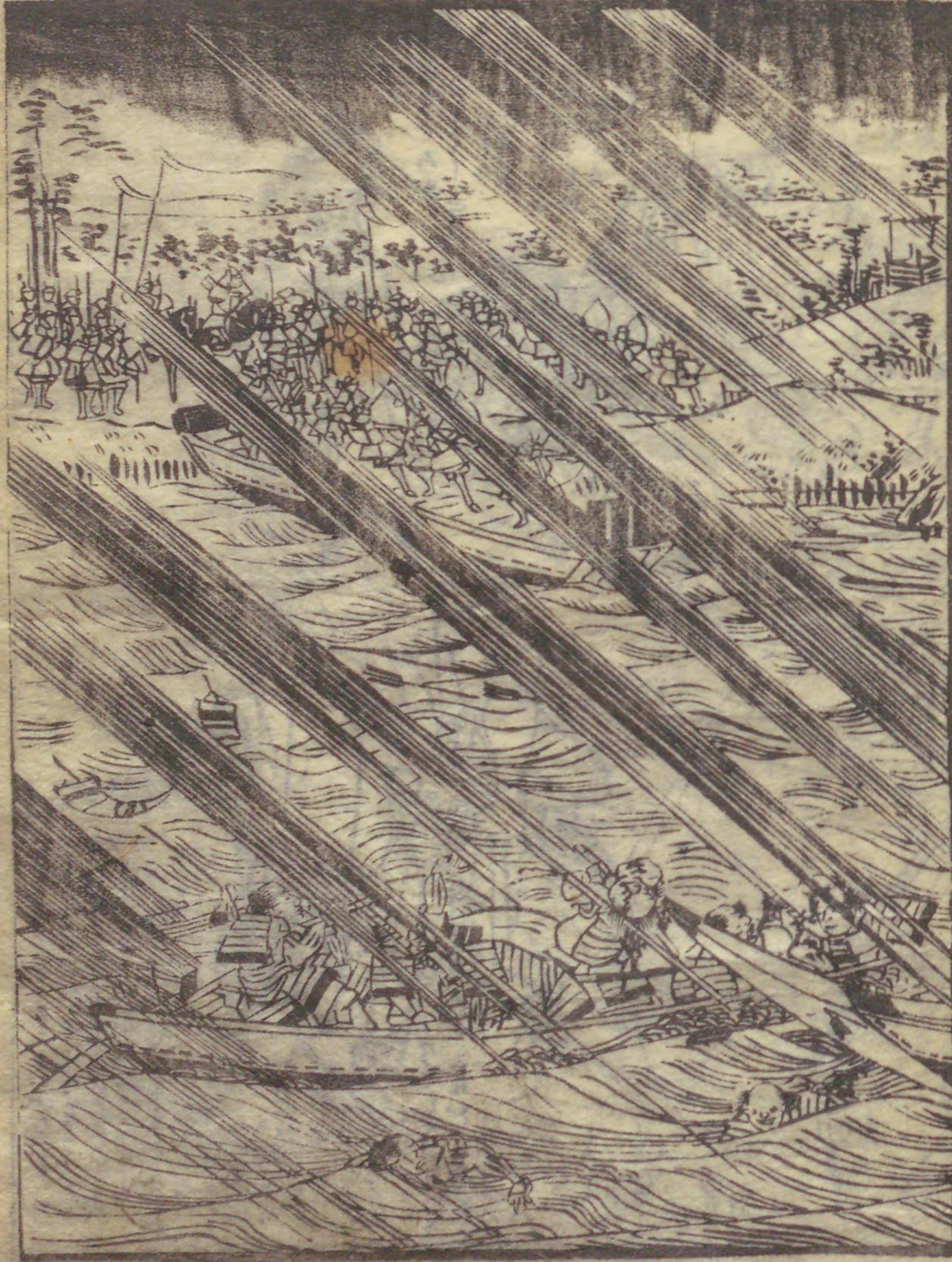
戲棚あつち利園りえん原本ほんげん
 神かみ矢口やぐち渡序わたりじゆ詞ことば
 楚辭そし不な身み既すで不な死しと
 神かみ以も以も子こ子こ魂たま魄たま
 鬼おにの雄ゆうとあるるに國くに
 事こと不な死しする者もの精神しんせい強かやう壯さう
 武教ぶきやう長ながく百鬼ひやくおにの雄ゆう傑たつ
 我朝わがの管家くわんけの例れい不なある
 劣せうらね新田しんた義興ぎきやう公こうの
 神かみ傳でんを録ろくするふまは
 省像しやうざうと以もらふ写しゃを



漢士わんし養由やうゆう之の
 處女ぢよ椒花せうか女によ
 夢祖ゆめそ頼光らいこう公こうへ
 夢中ゆめちゆう不授與ふじゆセ
 重寶じゆうぼう
 水破みづやぶ兵破へいやぶ之の矢や

矢くらら

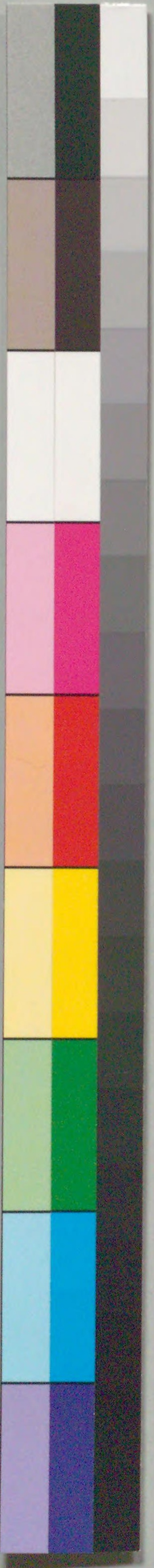
以下下生る害之の圖

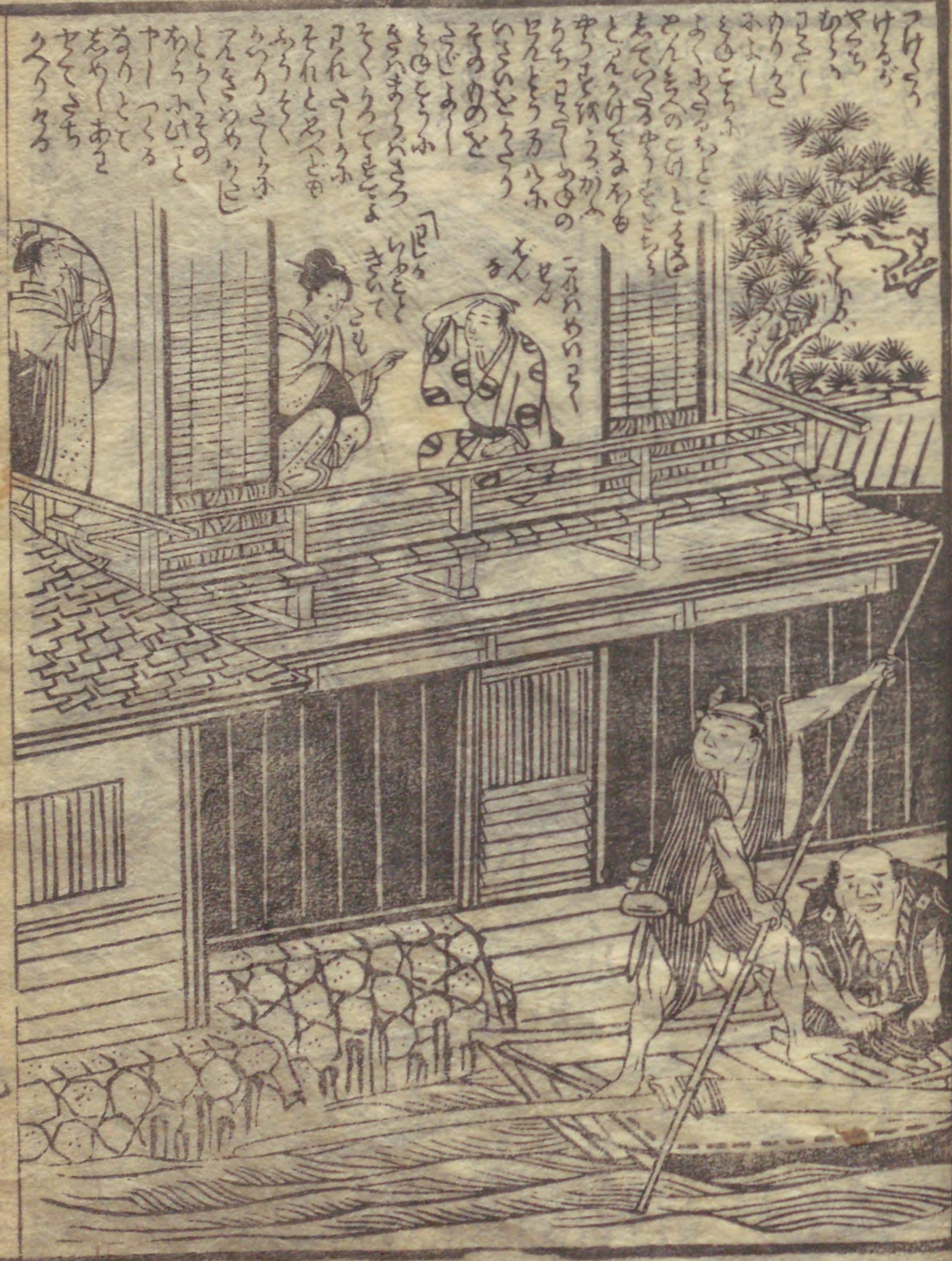


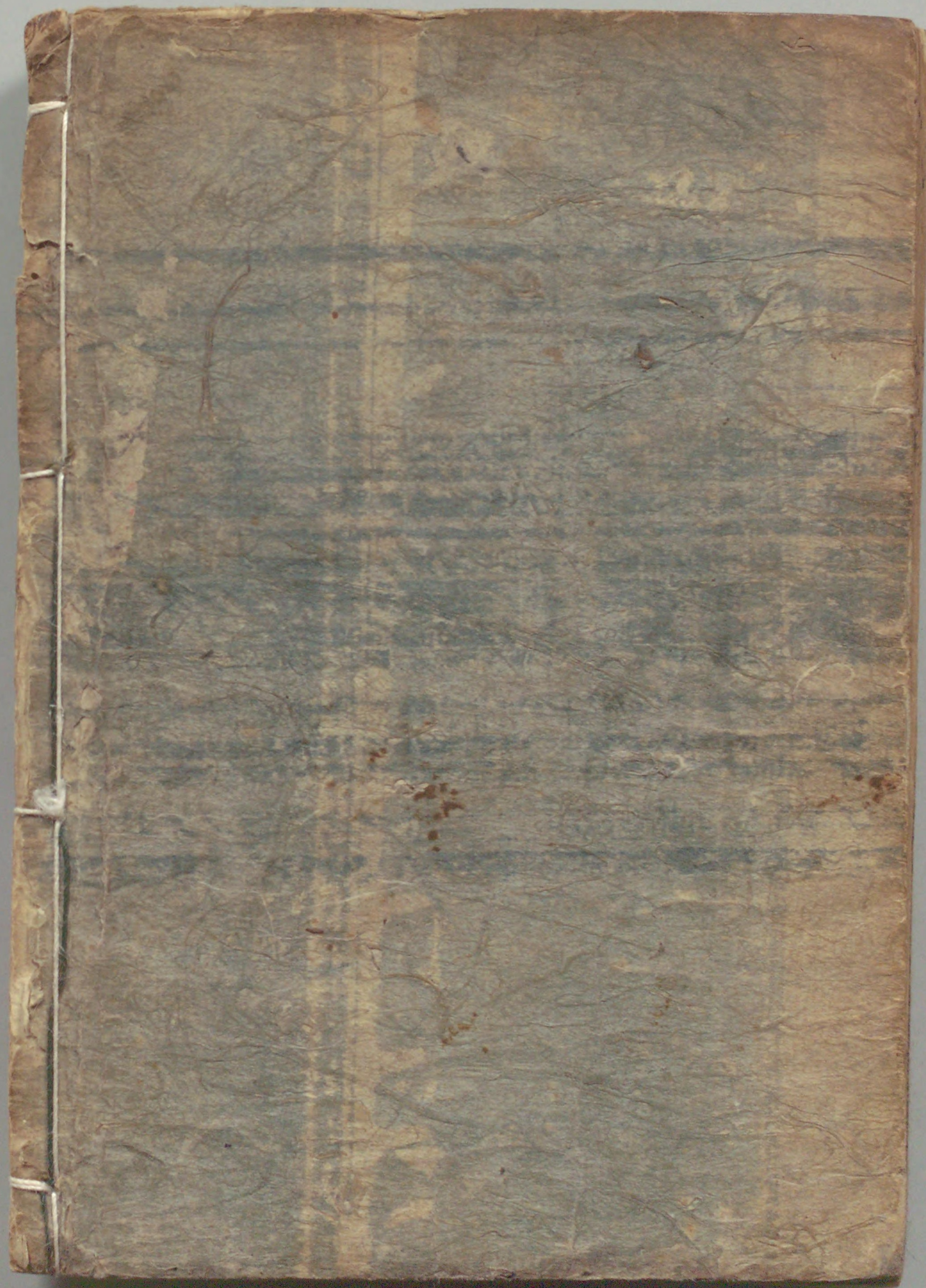
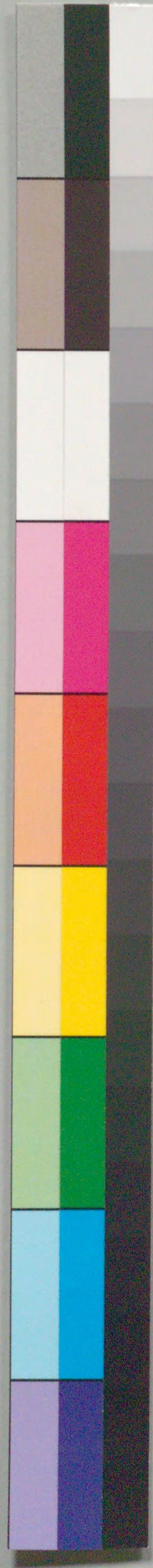
新田勢の矢口之危難義興公











国立国会図書館 [足柄山峯復仇] 3巻 207-1639

ガラス使用